

# 小さく始める車販のススめ

～車販に欠かせない3つの「し」とは?～

## 「3密回避」こそ車販のチャンス

3密、ソーシャルディスタンス、Go Toキャンペーンなど、コロナ禍の最中で新たな生活様式と関連する言葉が広がり始めている。新型コロナウイルスによって世界経済全体が歴史的な大打撃を受けており、自動車業界もその例外ではない。しかしながら前述したキーワードは、どれも自動車業界、とりわけ乗用車販売にとっては追い風となり得るものである。

新型コロナ感染防止にはマスク着用や手指消毒のほか、3つの密（密閉・密集・密接）を避けた行動が重要だと

注意喚起がなされた。これに伴い、電車やバスといった公共交通機関を使っでの移動を避け、乗用車での移動を選択する動きが活発化した。

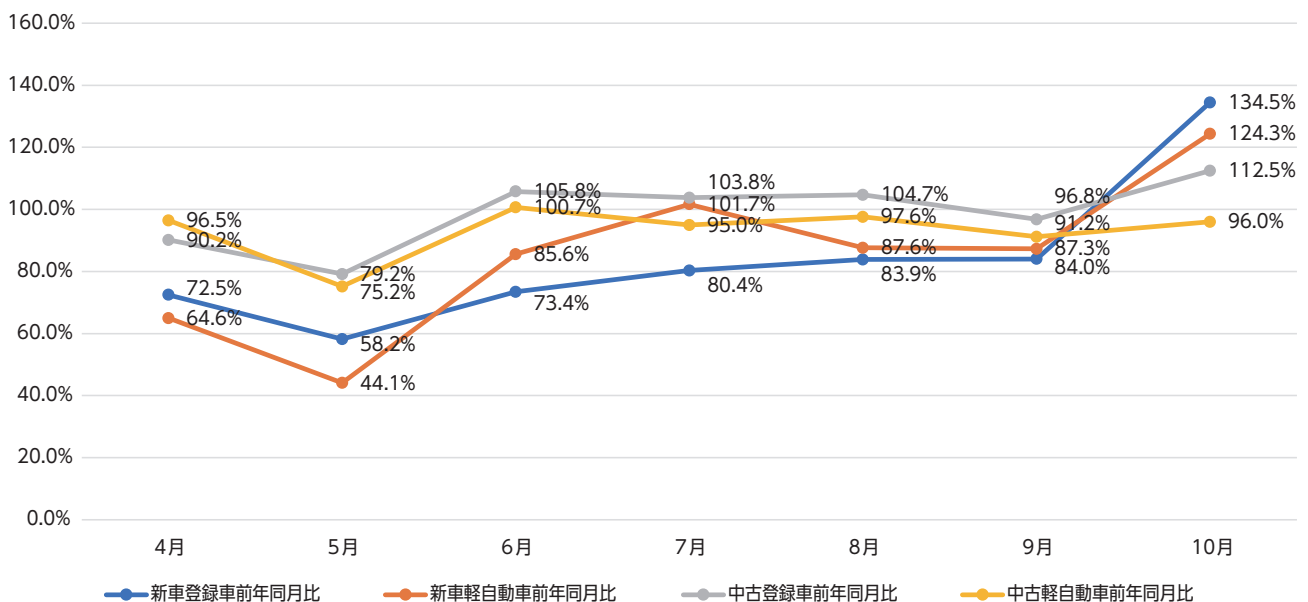
中日本高速道路が管轄する高速道路では、4連休に当たる9月19～22日の交通量は前年同月比で17%増加。一部区間では70km以上の渋滞が発生した。一方、同時期の東海道新幹線の利用者数は前年同期比で半減。Go Toトラベルキャンペーンが始まった10月以降もほぼ同じ水準で推移していることから、3密を避けやすいイメージにある乗用車での移動が支持される傾向にあることがうかがえる。

今年度上半期の新車乗用車の販売台数は前年同期比23%減となったものの、5月に底を打った以降は徐々に回復傾向にある（グラフ1）。中古車市場においても緊急事態宣言発出中の4、5月は一時的に販売台数が落ち込んだものの、上半期全体で見ると同比5%減にとどまっている。

こうした市場の動きは、ボデーショップにとっては大きなチャンスである。新たな生活様式に適した移動手段として乗用車が注目され、新車・中古車ともに販売台数が回復基調にある今だからこそ、車両販売を真剣に考え取り組むことを勧めたい。

グラフ1：2020年上半期の乗用車販売台数の推移（対前年比）

出典：日本自動車販売協会連合会及び全国軽自動車協会連合会の発表値



## Step.2 取り扱うべき車種とは

次に、車販を本格化させるに当たり、最初の疑問となるであろう、取り扱うべき車種に関して考察する。まずは昨今の販売動向について触れるとともに、人気車種の価格差や値落ち率などから見た、販売時のポイントを紹介する。なお、値落ち率に関してはボデーカラー、オプションの有無などは考慮していない。全体あるいはモデル別、グレード別の平均値として参考にしてもらいたい。

取り扱うべき車種を検討するにおいて、まず参考にしたいのは車種別の販売台数である。新車を売る時は数年後に買い取り再販すること、中古車を売る時は市場でよく売れている車を仕入れることが前提となるからである。

表1は2020年10月の車種別販売台数ランキングと、中古車の成約率ランキングである。これを見ると、月販売台数が多い車はおおむね中古車としてのニーズも高いことが分かる。新車ランキング1位のヤリスと中古車ランキング1位のアクアは、車格やハイブリッド設定があることなどの理由から顧客

層が重複しやすいと言える。

中にはアルファードとヴェルファイア、ルーミーとタンクのように兄弟車が設定されている車種もある。しかし内外装の違いによって人気は大きく左右されるため、一概に同じ程度の人気があるとは言えない。詳細は次ページ以降で説明する。

また、中古車の相場は海外への輸出量によっても大きく変動する。たとえば、今年初頭は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、4～6月にかけて輸出台数は大幅に減少。一時は前年同月比の半数まで落ち込んだ。これに伴

って国内の供給量が激増し、一部車種の小売価格は下落した。

海外で人気があるのはランドクルーザー、パジェロのように走破性が高い車やハイエース、バネットといった商用車など。主要な輸出先の一つであるアフリカにはヴィッツ、デミオなどのコンパクトカーも多数輸出されている。

この1、2ヵ月で全体の輸出量はコロナ前と同じ水準に回復しつつある。しかし、国内でさほど人気のない車種は在庫がだぶつき、相場が戻りにくいいため注意が必要だ。

表1：新車販売台数上位10車種と登録車及び軽自動車の中古車小売成約台数上位10車種（2020年10月度）

出典：日本自動車販売協会連合会「乗用車ブランド通称名別順位」、プロトコーポレーション「グリーンネット自動車流通」

新車		中古車（登録車）		中古車（軽自動車）			
順位	車種名（型式）	順位	車種名（型式）	販売始期	順位	車種名（型式）	販売始期
1	ヤリス（A1#、H1#、P210系）	1	アクア（NHP10）	2011年12月	1	タント（L375S）	2007年12月
2	N-BOX（JF3・4系）	2	プリウス（ZVW30）	2009年 5月	2	デイズ（B21W）	2013年 6月
3	ライズ（A200・210系）	3	デイズルークス（B21A）	2014年 2月	3	N-BOX（JF1）	2011年12月
4	タント（LA600・610系）	4	ノート（E12）	2012年 9月	4	N-BOXカスタム（JF1）	2011年12月
5	スペーシア（MK53系）	5	フィットハイブリッド（GP5）	2013年 9月	5	タント（LA600S）	2013年10月
6	ルーミー（M900・910系）	6	プリウスα（ZVW41W）	2011年 5月	6	N-BOX（JF3）	2017年 9月
7	ムーヴ（LA150・160系）	7	ノート（HE12）	2012年 9月	7	N-BOXカスタム（JF3）	2017年 9月
8	カローラ（E21#系）	8	プリウス（ZVW50）	2015年12月	8	ムーヴ（L175S）	2006年10月
9	アルファード（H3#系）	9	フィット（GK3）	2013年 9月	9	ミライース（LA300S）	2011年 9月
10	ハリアー（A8#、H8#系）	10	ハリアー（ZSU60W）	2013年12月	10	N-WGN（JH1）	2013年11月

※駆動方式はすべて2WD

※駆動方式はすべて2WD